

はっぽう

議会だより

今年も一年 元気で過ごせますように
(元旦 糠森登山)



**12月
定例会**

- 新年の議長挨拶…………… 2 ページ
- 定例会ダイジェスト…………… 3 ページ
- 一般質問 目次…………… 6 ページ
- 一般質問…………… 7 ページ
- 研修レポート…………… 12 ページ
- おらほの議員ってこんな人…………… 16 ページ

おらほの議員ってこんな人

第3回/4回

議会議員（12名）を紹介します。今回は議席番号7～9番の3名の登場です。



かき はら よし のり
笠原吉範
(2期目)

★果樹園代表・飲食店オーナー
★能代市生まれ。母親は峰浜石川出身。
★縁あって果樹園後継者として移住して、今年でちょうど30年になります。
★座右の銘である「継続こそ力なり」「有言実行」をモットーに、町民生活向上のため頑張ります。



まく ち かおる
菊地薫
(3期目)

★人口減少がこれほど進むと、2人の息子を都会へと送ったことを最近悔いることが多くなりました。稼げる企業の育成・誘致が必要ですね。
★住民の代表であることを強く認識し、常に住民の声や地域の意見等を尊重した上で、議員として責任ある行動をとっていきます。



み かみ まさこ
見上政子
(3期目)

ご先祖さんから受け継いだわすかばかりの田畑で低農薬米と野菜を作りたいと奮闘しています。田んぼにはイナゴが跳ねたり、カエルがいたり、畑は太いミミズなど虫の天国です。いいのかわいなのか。今年こそはうまく作りたいと毎年思うのですが、作物たちに時期遅れの成長をさせてしまい、出来が悪くてごめんねと言いつつ、4年前に議員だった頃よりも体と頭脳が退化していますが、判断の決め手は「町民こそ主人公」です。

※次回は、議席番号10～12番（芦崎達美議員、皆川鉄也議員、門脇直樹議員）を紹介します。

編集後記

暮れの強い寒波から一転、年明けは穏やかな天気にも恵まれた。未明の原宿暴走事件を除けば、まずはつつがなき年の初めであった。

今年で平成は幕を閉じ、新たな元号に変わる。悲惨な敗戦から復興、高度経済成長へと突き進んだ昭和。ベルリンの壁崩壊、異常気象と相次ぐ大規模災害、テロ、ITの急速な普及、グローバルizmとナショナリズム、貧困と格差拡大等、混迷がさらに深まった平成。

私達は今、答えもお手本もない時代に生きている。過去や常識に囚われず、ミクロとマクロの両視点から地域の課題解決に取り組みたいと思う。

(記 奈良聡子)

●議会広報編集委員会

委員長	皆川鉄也
副委員長	笠原吉範
委員	山本良子
委員	山本優人
委員	山本悦



亥年の新年を迎えて



八峰町議会議員 門脇 直樹

新年明けましておめでと
うございます。
平成最後の年が、大きな
災害なく無事に明けました
こと、心よりお慶び申し上
げます。

さて、昨年は1年を通じ
て秋田県が全国で話題沸騰
し、検索ワード都道府県名
いで第二位となりました。
平昌オリンピック金メダリ
ストに送られた「秋田犬マ
サル」から始まり、夏の全
国高校野球大会での金足農
業高校準優勝の大活躍、そ
のフイーバー冷めやらぬ中
で、ユネスコ無形文化遺産
にナマハゲが登録されたか

らだそうです。

特に、金足農業高校の活
躍には、心の中では地元だ
から当たり前と、気にも留
めておりませんでした。が、
県外で活躍している同郷の
友人達との会話で、全国的
なその人気のすごさに改め
て驚かされました。

そんな昨年、わが八峰町
は、加藤前町長の勇退に伴
い、森田新町長が誕生し、
さらなる町の発展に舵を切
り船出したところござい
ます。

八峰町においては、天候
に左右され、米の収穫、ハ
タハタの漁獲高ともに、芳
しくなく残念なことであり

ました。しかし、峰浜培養
も本格的に稼働し、順調に
生産を続けております。生
薬も生産のみならず、それ
を活かしたレシピづくりの
発表などチャレンジも続け
ております。

考えてみれば、秋田犬も
ナマハゲも、伝統を愛し、
守り続けてきたものが、や
つと認めてもらえたのだと
思います。金農野球に全国
の人が酔いしれたのは、な
にもない田舎で、ただ仲間
を信じて野球をやってきた
少年たちが、エリート校の
選手たちが見たこともない
ような作戦を、次々と実践
しては勝利してきたことへ
の驚きだったのでしょうか。

昨年の数々の話題の共通す
べき点は、その根底にある、
秋田県民のもつひたむきさ
への感動が作ったもののよ
うに思えます。

先日、年末の大雪には、
ほとほと閉口しましたが、
ご近所を見渡せば、高齢世
帯への声掛けや雪かきの手
伝いがごく当たり前に行わ
れるのを見て、八峰町は人
口減少、子育て、医療、交

通等々、田舎ならではの課
題が山積みだとはいえ、そ
んな何気ない日常に、思い
やりがあふれていること、
これこそを、何より誇りに
思うのです。

話題沸騰急上昇などしな
くても、こつこつとコツコ
ツと前に進んでいけるため
に、小さな声にも耳を傾け
て、議員一同、今年も町政
の安定した運営とさらなる
発展のため頑張つて参りま
す。

本年も、町民の皆様のご
理解、ご支援を賜りますよ
う、お願い申し上げます。新
年のご挨拶いたします。

- 八峰町議会副議長 皆川 鉄也
議員 水木 壽保
同 山本 優人
同 奈良 聡子
同 腰山 良悦
同 須藤 正人
同 芹田 正嗣
同 見上 政子
同 菊地 薫
同 笠原 吉範
同 芦崎 達美
(議席番号順)

12月定例会は12月12

日(水)から14日(金)
までの3日間開催さ
れ、条例の制定・改正
や一般会計及び特別会
計の補正予算、専決処
分等が上程されまし
た。

そのほか、陳情5件
等を審議しました。
一般質問では、5人
が登壇し、町政をた
だしました。

12月 定例会 ダイジェスト



八森ブルーウエーブ 東北新人学童野球大会出場に 係る補助金の追加補正を承認

専決処分

●平成30年度八峰町一
般会計補正予算(第3
号)

79万2千円を追加補
正
主な歳出:秋の新人
戦で全県優勝した八森
ブルーウエーブの東北
大会出場に係る補助金

一般議案

●八峰町一般職の職員
の給与に関する条例等
の一部を改正する条例
制定について

秋田県人事委員会の
給与改定の意見に鑑
み、職員の給料表及び

諸手当を改定、一般職
の勤勉手当の支給割合
を0.1ヶ月、再任用
職員の勤勉手当の支給
割合を0.05ヶ月増額
するため条例改正をし
ました。

●八峰町特別職の職員
で常勤のもの給与及
び旅費に関する条例の
一部を改正する条例制
定について

一般職の職員の給与
改定を考慮し、常勤の
特別職の期末手当を
0.1ヶ月増額するた
め条例改正をしました。

●八峰町教育長の給
与、勤務時間その他の
勤務条件に関する条例
の一部を改正する条例
制定について

●八峰町議会の議員の
議員報酬及び費用弁償
等に関する条例の一部
を改正する条例制定に

ついて
同様に教育長・議会
議員の期末手当も増額
するため条例改正をし
ました。

●八峰町放課後児童健
全育成事業の設備及び
運営に関する基準を定
める条例の一部を改正
する条例制定について

放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に
関する基準の一部改正
しました。
主な改正点
・教育職員免許状を有
する者であれば免許更
新をせずとも支援員に
なることができまし
た。

・5年以上放課後児童
健全育成事業に従事し
た者で、町長が適当と
認めた場合は支援員と
なることができるよう
になりました。

補正予算

●秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について

構成団体である大仙美郷環境事業組合の解散等に伴い規約の一部変更をしました。

●平成30年度八峰町一般会計補正予算(第4号)

4566万3千円を追加補正

●能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について

同組合が新たに整備する廃棄物処理施設において、藤里町から排出される不燃ごみ等の処理を受け入れることにより規約変更しました。

●平成30年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

2551万5千円を追加補正

主な歳出：居宅介護サービス給付費負担金、施設介護サービス給付費負担金、介護予防通所介護事業費負担金の追加

●平成30年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

16万円を追加補正
主な歳出：人件費の追加

●平成30年度八峰町公営下水道事業特別会計補正予算(第3号)

199万5千円を追加補正
主な歳出：施設管理費の光熱水費及び人件費の追加

●平成30年度八峰町営診療所特別会計補正予算(第2号)

38万9千円を追加補正
主な歳出：医薬材料費及び人件費の追加

請願・陳情

☆反対します！

にしないことを国に求める陳情書

採択された陳情

●安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のため国に対し意見書の提出を求める陳情

山本 病院に限らず全産業で従業員が不足しているのが一つの要因。医師・看護師・介護士等は特殊な資格が必要であり、人数そのものが少ないことがも一つの要因である。このような人々の増員をすることは病院等の経費負担が非常に大きく、その一方で患者の利用費負担を軽減することには矛盾を感じる。

●「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情

●介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を国に求める陳情書

見上 今、介護施設や病院では看護師不足が非常にうたわれており、大変な状態で働いている。ひとり夜勤をなくし複数にするのは当然のこと。また労働条件も悪く、特に看護師は奪い合いになっており、ぜひ大幅増員、夜勤改善を望む。

☆賛成します！

（秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳）

●75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割者医療自己負担を2割

継続審査になった陳情

●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設のため国に対し意見書を求める陳情書
（秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一）

山本 《継続審査ではなく今すぐ不採択》

賃金は地域の経済水準によって決められるべきもの。都会と田舎での給料格差は必然的にあり得る。また大量の高齢者を大きい施設で多くの職員で介護すべき。小さい施設ばかり乱立している状況では雇用も確保できず給料はなかなか上げられない現実を踏まえ、継続審査ではなく不採択とすべき。

☆討論

見上 《継続審査ではなく今すぐ採択》

地域によって格差が9万円ほどある。看護師を確保するのに四苦八苦しており、給料の良いところ流出してしまうため看護師不足を助長することになる。これを是正するためにも看護師の最低賃金制度を設けるべき。継続審査ではなく今すぐ採択すべき。

笠原・皆川 《継続審査に賛成》

2人の意見が象徴するように、委員会内でも様々な意見が出たため、継続審査としてゆつくり議論をすることが必要。

賛否が分かれた議案・陳情の採択結果 ○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のため国に対し意見書の提出を求める陳情について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員を求める意見書提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」を求める意見書提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設のため国に対し意見書を求める陳情書について	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		継続審査
75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める陳情書について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を国に求める陳情書について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		採択
介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める意見書提出について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5人の議員が一般質問

定例会2日目の一般質問では5名の議員が町政について質問しました。

p7 笠原 吉範 議員

- 1 物産品販路拡大事業について
- 2 ひきこもりの方の就労支援について

p8 山本 優人 議員

- 1 外国人労働者の受け入れについて
- 2 住環境の改善等について

p9 皆川 鉄也 議員

- 1 本年産米不作の現状とその対策について
- 2 子ども園の運営について
- 3 新年度予算編成について

p10 見上 政子 議員

- 1 風力発電が町民に与える影響について
- 2 学童保育を適切な要件を満たして行うことについて
- 3 老人福祉事業の軽度生活支援事業について

p11 菊地 薫 議員

- 1 地上デジタル難視聴対策について

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。

が集う場「かたくり」を毎月一回開催しており、今後もこうした若者の就労や社会参加を促していく。

町の活性化に不可欠である。県の支援制度だけでは不十分であり、町独自の制度を設ける考えは。

町長

現在町が把握している

ひきこもりの方は56名となっている。県では平成28年から「社会とのつながり支援（職親）事業」を実施しており、町の相談窓口は山本地域振興局であり、町独自の職親制度は必要がないと考えている。「あきた若者サポートステーション」の指導を受けながら、未就労の方やひきこもりの方

「八峰白神特産品フェア」の効果は

町長 判断が難しく見直しが必要

笠原

町では、毎年首都圏で「八峰白神特産品フェア」を開催している。その目的は、事業者の販路拡大や観光・ふるさと納税等のPRにあるが、多額な事業費に見合うだけの効果があるのか甚だ疑問である。費用対効果を含め検証をし、見直す必要があるのでは。

できるアンテナショップの機能も果たしてきた。8回の開催について検証してみると、直接商品の取引につながるなどの効果や観光に結びついているかなどの判断が難しく、経費が売上額を大幅に上回っている状況であり、事業の見直しが必要だと考えている。



毎年首都圏で開催される八峰白神特産品フェア

ひきこもりの方の

就労支援は

町長 県の事業を活用し 支援を続ける

笠原

現在、ひきこもりの方の長期化や高齢化が社会問題となっている。少子高齢化が進む中、

移住・定住も大事だが、ひきこもり状態にある方に手を差し伸べ働く場や居場所をつくり、社会参加を促すことも



笠原 吉範 議員

外国人労働者の

管理団体必要

町長 4市町の意見を聞く

山本

町内企業でも、外国人労働者の雇用を検討している企業や農家がある。技能実習生の就業先からの失踪・トラブルなど様々な問題があるにも関わらず、農家を始め働き手不足の地方産業の衰退を止める手段としてはやむなしだが、問題や課題について把握し、町がしっかりとした対応をする必要がある。

労働者の外国人のニーズはあると思うし、町内企業や農家が安心して外国人の受け入れをできるよう、町や商工会で管理団体の設立の考えは。

町単独で出来なければ能代山本圏域の組合で作るということも必要ではないか。

町長

通年でない農業については、今の外国人をそのまま活用するという方法はなかなか難しいと思う。農業ヘルパー制度とかいう形の中で対応など、来年度予算に向けて担当部署に指示をしている。現実として外国人に頼らなければならぬという認識はある。

能代市山本郡4市町の意見も聞き、共通の問題として話し合っていかなければいけない時期に来ていると思っている。



犬用の足湯も完備した大分県別府市のドッグラン設備

ドッグランの設置を

町長 経営状況など

研究したい

山本

犬、猫などの動物を飼う人が増えていて、特に犬を飼う一部の方のマナー違反が目立つ。飼い主へのマナー指導の状況は。

犬、猫などの動物を飼う人が増えていて、特に犬を飼う一部の方のマナー違反が目立つ。飼い主へのマナー指導の状況は。

本年度米の

現状と対策は

町長 生産に支障のない

対策を講じる

皆川

本年稲作はこれまでになく不作であったとの声が聞かれる。また米支払直接交付金が廃止されたほか、農業水稲

共済、収入保険、ナラシ対策において農家救済の糸口が見えない。農家の生産意欲が無くなるのではと危惧される。町の現状とその対

町長

実際の収量が国の作況指数より少ないと聞いており、資金借入れの利子補給なども考えていたが関係機関や団体に調査を行った結果、

希望する農家が少なく今回の補正予算計上は見送る判断をした。今後は県や周辺市町、JA等関係機関と連携を図り情報収集に努め、来年の再生産に向け支障が出ないように取り組んで行く。

非正規保育士の

待遇改善を

教育長 財政面を見据えた

運営を図る

皆川

子どもを保育管理する職員がまだ非正規職員に頼らざるを得ない等必ずしも良好な状況とは言えない。峰浜地区にも認定子ども園の建設が計画されており、運営形態も大きく様変わりするのを機に、経験豊かな現在の非正規職員を正職員に登用し、充実した運営を行う考えはないか。

教育長

現在保育士数は30名で、うち正職員が13名で43%である。今後採用に当たっては地方公務員法の改正で臨時職員に適用される「一般職の会計年度任用職員」制度が創設されるので、財政面を見据えた職員数とし、充実した子ども園の運営を図る。

新年度予算編成方針は

町長 町の将来像実現に

向けた予算編成

皆川

地方交付税の減額、農業収入の減が予想される中で、税収等、歳入に大きな伸びが見込めない中でも住民ニーズにはしっかりと応じねばならない。町長が臨む初めての予算編成方針

町長

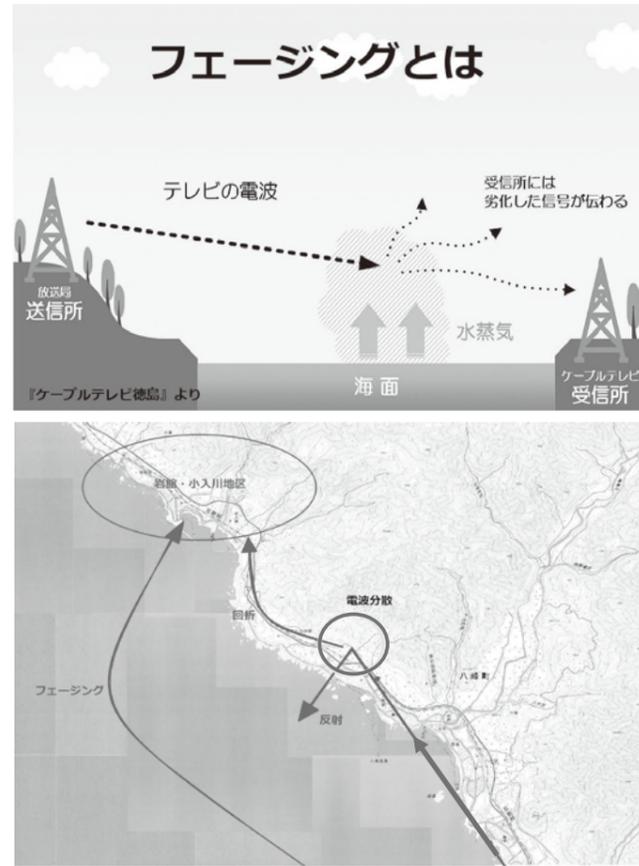
公約実現に関連する事業と現施策の見直しを進める。「まち、ひと、しごと創生総合戦略」に基づく事業を推進していく。



皆川 鉄也 議員



山本 優人 議員



能代中継局からの電波が空気中の水蒸気等により、伝わり方に異常を生じさせ、電波が弱まったり大きく屈折するようになり、電波が正常に受信できなくなっている。



菊地 薫 議員

風力発電 計画把握し 情報提供せよ

町長 制度上事業者に 説明責任

見上 稼働・計画中の風力発電が町民にどのような影響を与えるのか。景観、電磁波や低周波、生態系への影響、これまでの町の対応、事業者と当局の関係、漁業への影響はいかに。事業者任せではなく、町

町長 八峰能代沖 洋上風力発電事業に関するジャパ・エナジー社の環境影響評価方法書に、ハタハ



沼田地区に建設された風力発電7基 (上空から)

民の生活と健康を守るために町長は情報提供すべき。

要件満たし 適切な学童保育を

夕や蝙蝠への影響の詳細調査を求める意見が寄せられ、同社は調査を検討するとしている。制度上計画の説明は事業者の責任においてなされるもの。住民の不安に対し丁寧な説明と対応を事業者に求めていく。次の段階の準備書も住民の縦覧に供されるので、あえて町が説明する必要はない。同社の調査結果と対応方針を注視し、場合によっては事業計画と対応策の見直しを強く求めていく。

要件満たし 適切な学童保育を

教育長 ランチルーム使用 今後も継続

見上 「小1の壁」など低学年と高学年が一緒に過ごすランチルームでの学童保育は適切か。

の方向で進めたい。

教育長

八森・峰 浜両児童クラブの平均利用児童は40人以下で全学年が一緒に過ごす時間は1時間程度。ランチルームはベストではないがベターであり今後もそ



見上 政子 議員

テレビ難視聴対策は

町長 平成31年度において 対策工事を実施したい

菊地 平成23年にアナログから地上デジタルへ移行になり、画像も鮮明になり、技術は日々進化している中、難視聴地域が全国各地にある。わが町でも岩館第2自治会で非常に状況が悪く、全

町長 岩館地区の難視聴対策については、平成22年度に「情報通信基盤整備工事」として小入川

及び岩館第1自治会で共同アンテナで受信した電波を光ファイバー網で各世帯に伝送する共同受信施設を整備した。岩館第2自治会は、当時、戸別に設置したテレビアンテナで受信可能であるとのこと。当該事業は不要と判断した。

この事業により、難視聴は解消されたものと考えていたが、実施した以降も住民から町に「テレビの映りが悪

い」との苦情が時折寄せられた。大半は共同受信施設を利用している世帯で修繕作業により回復しているが、戸別受信している世帯からの苦情も少なからずあった。それを踏まえ、平成29年11月に岩館第2自治会の全世帯を対象に調査を行ったところ、29世帯で何らかの受信不良が発生しているという結果になった。専門の業者から、海面からの反射波が変動す

菊地 事業費はどの程度を見込んでいるのか。

町長 現在のところ、約5600万円かかると見込んでいる。

見上 軽度生活支援事業は事業対象が65歳以上世帯または単身者へと拡大。事業を知らない人がほとんど。事業の周知と人材不足の場合の対策は。

町長 広報で周知、有ボラ等人員増必要

町長 広報を活用し周知を図る。シルバー人材センターの登録者を増やし、特に除排雪は、自治会等に有償ボランティアのような考え方で協力を要請する必要があると考えている。

研修レポート①

・配車アプリ×マイカー×住民ドライバー 新しい公共交通のかたち ・民が旗を振る但馬の小京都 わずか50年で一大人気観光地に

報告者 奈良 聡子（総務民生常任委員会）

● 視察先

- ① 京都府京丹後市丹後町 NPO 法人「気張る！ふるさと丹後町」
 - ② 兵庫県豊岡市出石町 山陰海岸ジオパーク豊岡エリア出石周辺
- 視察日程 平成30年11月5日（月）～7日（水）
- 視察参加者 水木壽保、笠原吉範、門脇直樹、芦崎達美、芹田正嗣、奈良聡子

① NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」

視察目的 公共交通空白地の不便解消のヒントを探る

視察内容 ICT公共交通空白地有償運送「ささえ合い交通」について

◆ 京丹後市丹後町の概要

2004年4月、旧6町が合併し「京丹後市」誕生。

人口：京丹後市55,369人
丹後町5,242人（2018・6・30現在）

丹後町は市の中心部から最も遠く、日本海に面する斜面地に集落が分散している。豊かな自然、農水産物、工芸品を有し、夏・冬とも観光客が多いが、町内移動が不便である。

◆ NPO法人「気張る！ふるさと丹後町」と「ささえ合い交通」

合併以降も町の衰退は止まらず2008年にタクシー会社が撤退。益々交通が不便になり将来への不安が広がるなか、同NPOが2009年に設立され様々な地域活動を展開。2014年に市営デマンドバスを受託運行した実績と、町にタクシー営業所がなかったことから、同NPO運営の「ささえ合い交通」が地域公共交通会議で承認され2016年に運行開始した。

◆ 「ささえ合い交通」の運行システムと利用状況

「ささえ合い交通」は日本初の、GPSを用いた「公共交通空白地有償運送」である。利用者はスマホを使いUber社のアプリで車を発見されたのが始まり。

② 山陰海岸ジオパーク豊岡エリア出石周辺

視察目的 当町ジオツーリズムの参考にする

視察内容 ジオポイントでガイドの説明を受ける

◆ 兵庫県豊岡市出石町の概要

人口約1万人、年間観光客約100万人。

私たちがこの気概に倣い、なるべく早期に解決策を見出したいと思う。

但馬の小京都と呼ばれ、風情ある江戸時代の町並みを今に残す。特産品は出石焼、出石皿そば、出石ちりめん等。

出石焼は江戸中期に白磁の原石が発見されたのが始まり。



日本最古の時計台、出石のシンボル『辰鼓楼』

◆ 城の復元機に観光へ舵を切る

山陰海岸ジオパークの一角を成す出石町は、50年前までは鉄道も走らない陸の孤島だった。昭和40年代、織物業が衰退し観光に目を転じた町は、全て町民の寄付で出石城を復元する。国の観光政策「ディスカバージャパン」にもうまく乗り、様々な仕掛けをし続けわずか50年で一大観光地となった。重要伝統的建造物群保存地区に指定されている古い町並みの中には住民の暮らしがあり、観光と生活が混在する活気ある町だった。

◆ 所感

数多くの歴史の舞台となった出石が輩出した偉人に、「反軍演説」で有名な政治家、斎藤隆夫がいる。

を呼ぶ。住民ボランティアの運転手が自家用車で地域住民や観光客等を運送する。丹後町内は乗り降り自由、町外は降車のみ。運賃は概ねタクシー料金の半額。登録運転手は現在18名。運賃収入の7割が運転手の報酬。

利用客の8割は地元住民で、病院や買い物、ちょっとした外出が目的。2割は外国人観光客だが、アプリの多言語対応で通訳不要。利用者の反応は上々。今後の大きな課題は、病院や大型商業施設等がある丹後町外への往復運航の実現である。

「ささえ合い交通」は行政や補助金に頼らず、運賃収入のみで採算が成立している。一見順調な道のりに見えるが、タクシー業者に反対されないような根回しが大変だった、と東広報担当理事は振り返っていた。

◆ 所感

電話受付と配車の人的負担ゼロ、車両提供に掛かる行政コストゼロ、このことが非常に誇りだというガイドの加藤勉さんの言葉に出石人の矜持を見た。町民一丸となってまちを作り、民が旗を振る出石町に脈々と息づく自主独立の気概と義侠心が、町が大きく発展した理由ではないだろうか。

世界ジオパークを目指す当町も、学術的な価値とともに観光地としての魅力を高め、町が一丸となって盛り上げていく必要がある。町の団結力と発信力が問われている。



到着までの時間、運転手の名前、車種等が表示される

運転手はアプリの「オン」「オフ」の切り替えで運行の意思表示が可能、柔軟な働き方が可能。行政・利用者・運転手三方よしの画期的な交通システムではないだろうか。

同NPOは2018年「地域再生大賞」の近畿『ブロック賞』を受賞した。過疎指定された小さな町のNPOが最新のICTで公共交通を担い、独立採算運営に成功している事実には驚くばかりだ。

ウーバーの配車システムの利便性を確認し、同NPOの独立の気概に触れたことは大きな収穫だった。

研修レポート②

・洋上風力発電事業計画における下関市議会の対応 ・「べっぷドッグラン」運営の状況

報告者 山本 優人 (教育産業建設常任委員会)

- 視察日程 平成30年11月6日(火) 9日(金)
- 視察参加者 山本優人、腰山良悦、須藤正人、見上政子、菊地薫、皆川鉄也
- 視察先
- ① 山口県下関市役所 下関市議会
- ② 大分県別府市役所 別府市議会

- ① 山口県下関市議会
- 研修目的 洋上風力発電事業に係る議会の対応

研修内容

◆ 事業の概要・経緯

★平成22年頃、前田建設工業(株)が出力4,000kw×15基(口径1ター直径130m)を安岡沖洋上(日本海)の一般海域に運転期間20年で設置計画。

★24年8月漁業権を有する漁協と設置の基本合意。25年7月共同漁業権内組合員の2/3より、漁場の一部貸与(20年間)の同意を得る。

★25年9月経済産業大臣が勧告なしの通知。25年12月漁協と漁業補償契約締結し計画が進行。

★26年2月建設反対する会が3万2千の署名を市長に提出。

★26年3月市議会定例会で「安岡沖洋上風力発電事業に関する決議」(地元の不安や課題が解消されるよう求め、できなければ風力発電の建設は、現状反対せざるを得ない)の決議。

★29年1月建設反対する会が署名10万筆を市長に提出。

★29年7月経済産業大臣が事業者に勧告

★30年6月市長、「地元の反対がある以上、進めるべきではない」と議会答弁

★30年10月漁協組合員4名による工事差止め裁判で棄却され、現在控訴中。

◆ 所見

安岡沖洋上風力発電建設計画は、計画浮上からすでに9年が経過するなかで、安岡地区等の自治連合会、医師会や商工会、宅建協会、漁業者など反対署名は10万筆をこえるなど、住民の反対世論の高まりと根強い反対運動によって建設計画は進んでいない。

行政の立場では、再生エネルギー

の導入促進や誘致を図る立場でありながら、市長は住民がかかえる不安と反対世論の広がりにより、「絶対に進めるべきではない」と反対の意志を表明しているが、低周波音の問題については市単独で独自の調査はしていない。市では「調査は事業者が行うこと」と判断したものと推察した。

また、議会も「住民の不安や課題が解消されるよう求め、それができなければ風力発電の建設は、現状反対せざるを得ない状況にある」と判断する。よって、この状況を改善することを求める」という、自然エネルギー推進誘致と住民の安心安全の確保の双方に配慮した結果、決議書として議会の意思を示したと思慮される。

市議会議員欠席での研修となったため、住民代表である議員の率直な考えが聞けなく、住民行動が把握できなかったことが残念であった。

- ② 大分県別府市役所 別府市議会
- 研修内容 ドッグランの運営状況について

◆ 事業の概要・経緯

平成25年6月 愛犬家(1700名)よりドッグランの設置要望書提出

平成26年11月 整備工事開始(市公園内2,900m²・3,700万円)

平成27年7月 竣工
3月14日 オープン

◆ 所見

飼い主のマナー向上、ペットの健康管理等においても課題があることから、犬専用の広い運動場で引き綱を放して犬を自由に遊ばせ、運動不足やストレスを解消させることは重要なことと考え、ドッグランの整備の要望を受け視察をおこなった。

そこには、人と犬とのきずなが深まり、最



水遊びもできるドッグランコース

近はペットというより家族の一員となっており、家族間のきずなを結び役割をも果たし、アニマルセラピーとして高齢者医療においてもその効果が大きいと感じた。しかし、中には犬が好きで人ばかりではなく、犬が嫌いな人にとって、公園でたまたみかける犬のリードを放して自然ドッグラン状態に危

険を感じることもしばしばあるなど、犬の飼い主のマナーや犬の散歩道、散歩コースで犬の排せつによる不快感を示される方もいること。そこで、犬を飼っている人も飼っていない人にとってもリードなしで利用できるドッグランの整備が進んできたのではと考えられた。

ドッグランの効用として揚げられているものは、人とペットの共生社会の育成、糞の放置や放し飼いの苦情対策、飼い主への啓蒙・啓発の場、愛犬家同士のコミュニケーションの場、しつけの場としての活用、愛犬家の自主管理、町の公園の有効活用、話題性の提供、そして地域の活性化が期待できるものと感じた。

更に、他観光地との差別化を図る上で、遠方から犬連れで来られる観光客に長旅の疲れを癒すためと愛犬家が好き取り組みをする点で、人にもペットにも優しい観光地である認知も期待できるなど、ハタハタ館周辺の集客につながる効果が見込められると考えられる。